

●ひとかたるものがたり● 第11回

高野 澄子さん（前田・八和木）



藤華新流新舞踊の家元で「澄美れ会」の代表。今年は家元となり35周年の記念の年。建て替えた村の自宅でも間もなくお稽古を再開します。

毎週金曜日は村内の集会所で、他の曜日は、川俣町内の2か所と、福島市飯野町で、お稽古を続けてきました。

昨年、村の自宅を平屋に建て替えて、踊り場を作りました。今はいろいろな人に手伝ってもらいながら、機材を運び、お稽古再開の準備を進めています。

その新しい踊り場は、踊りた人にももちろん、踊りが別に好きでない人でも、お茶飲み話をしに来れる場所にしたと思っています。

避難して、元の家を壊してしまっただけで、村に来ると近所の

友達の家を借りていました。今度は私が、誰でも寄れる所を作りたい。漬物とか家にあるものを持ち寄り、お金のからないうり方だと思っています。始めの時には、何かいい名前でもつけたいですね。

避難する時は、在宅で介護をしていた夫と一緒。受け入れてくれる病院を見つけたのに苦労しました。そして私は中ノ沢温泉へと二次避難。その後、ストレスが重なり発病しました。胃の切除手術を受けましたが、1年半の入院期間も、踊りの仲間を支えられました。夫は避難先の病

院で亡くなってしまいました。「澄美れ会」では、慰問活動が続いています。呼んでいただけることは、ありがたいこと。特に9月は、毎年あちこちの敬老会へ出掛けます。おにぎり持参でね。ところが「昨年の9月は、心臓に異常が見つかりました。病院の先生に言われたんです。『今死ぬ訳にはいかないんです。村に家を作るんです。一緒に踊るのを待っている人がいるんです。敬老会があるんです。』」と。すぐに手術が決まりました。手術の前の晩まで、お稽古をして。それでも運がよかつたんですね。助けていただきました。翌日から、リハビリを開始。医師の了解をもらって、10月の末にはステージにも立つことができました。「これで村に戻って、皆とお稽古できる」とうれしかった。「踊りたい」と言ってくれる人がいたから、生きた。皆が待っていてくれたから、生きられたんです。

今年は35周年の節目の年。毎年チャリティコンサートを開いてきた川俣町中央公民館で、7月8日に記念のコンサートを開き、皆さんに感謝を伝えたいと思っています。

おしえてくんちえ！堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 何かあると、後ろ向きに考えてしまいがちです。気持ちの切り替えにより方法がありますか

堀先生 人には、前に進みたい気持ちと、どうしても過去にとらわれてしまう気持ちの両方があります。感謝や喜びばかりではなく、怒りや悲しみ、嫉妬などにとらわれることもあるのです。どうしても後ろ向きの感情や考えを離れられない時にも、そういう自分を「ダメだ」と責めないことが大切です。たとえ、時間と場所を決めて、信頼できる人にそういう気持ちについて聞いてもらうことで、気持ちが楽になることがあります。だからと続けず、後ろ向きになる場を区切るのがポイントです。他の対策としては、全く関係のない別の活動に没頭するのも、良い方法です。



精神科医 堀 有伸 先生
（ほりメンタルクリニック院長）

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係（いちばん館内） ☎0244-42-1638まで

こころのぽけっと

逆境に 強き花

東日本大震災では、大津波が押し寄せ、一瞬の内に多くの方の尊い命を奪い去ってしまいました。たとえ、本人に命があったとしても大切な家族や友人を失った方も多かったはず。福島県は、津波による原発事故により長年住み慣れた土地を追われるという苦しみを味わわされています。さらに震災関連死というのもありました。

ところで、命という字ですが「人は1回叩かれる」と書くと言われています。つまり、叩かれるとは人生の試験です。その試験を乗り越えることによって、たくまさが鍛えられていく。命という字はそんな意味をもっているというのを聞いたことがあります。

植物だって、春や夏にきれいな花が咲くのは、秋から冬の寒さの厳しい時に、しっかりと土の中で根を伸ばしているからでありましょう。人間でも同じで、人生の厳しい状態を味わうことによって鍛えられ、人に優しさをもって接したり、逆境に強い人になったりすることも言えるはず。

この避難生活の中、苦しいこと心配なこと、たくさんありましたが、考え方を少し変えれば、この災害も「意味あり」に出来そうです。

これから先の人生を大切にしなければなりません。嬉しいことや楽しいこと、いっぱいあるはず。心の根をしっかりと伸ばして、人生の大きな花を咲かせてもらいたいものです。

夜になっても、太陽が無くなったわけではありません。必ず、陽はまた昇ってくるはずですから。

平成30年1月23日 飯館村長 菅野 典雄

おくやみ

氏名	年齢	行政区
川田 八二	ナ 103	小惑
田中 七二	ナ 92	伊丹沢
佐藤 七二	ナ 73	草野
佐藤 七二	ナ 77	長沼
佐藤 七二	ナ 76	飯館町
佐藤 七二	ナ 65	伊丹沢
佐藤 七二	ナ 86	比叡
佐藤 七二	ナ 87	上飯館
佐藤 七二	ナ 85	上飯館
佐藤 七二	ナ 84	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき

平成29年12月31日現在		11月1日～30日までの人口動態	
人口	今月（前月比）	転入	4人
男	2932人（-13）	転出	18人
女	2948人（-13）	出生	1人
合計	5880人（-26）	死亡	13人
世帯数	1805戸（-3）		

（住民基本台帳人口）



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
鹿山 真彦・紗文	深谷	

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
長谷川 芳博	伊丹沢
富田 裕美	喜多方
佐藤 康弘	上飯館
渡邊 梨奈	福島市

いつまでもお幸せに

（12月15日から1月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この間に結婚を希望しない方は、届け出のときに住民課へ申し出てください。